

清水五条陶板の散歩道の概要

五条通（川端通～東大路通間）の電線類地中化工事に併せて
設置される地上機器16箇所に、
地域の多様な主体の協力により陶板による作品と観光案内標識を設置

歩道上に連続した観光スポットを創出することにより、公共交通機関の利用を促進し、**環境にやさしく歩いて楽しい「脱クルマ観光」**を推進

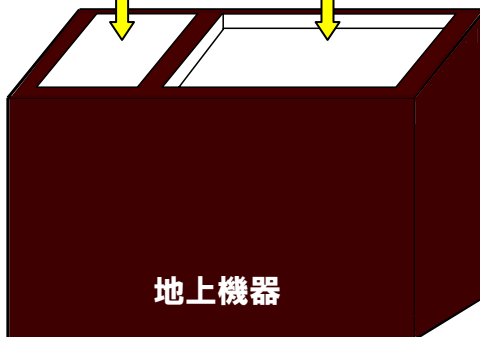
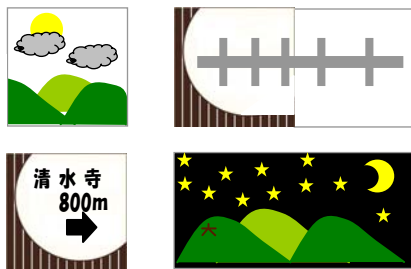
陶板は、京焼・清水焼の**高名な作家が特別に制作し寄贈**

陶板の新たな活用モデルを提示し、**伝統産業を活性化**

題字は、**森清範**
清水寺貫主の
揮毫による作品
(4箇所に設置)



陶板設置イメージ



清水焼の産地の特色を活かして、**陶板で案内標識や地図を制作**

地図と案内標識を有機的に連携させ、**ネットワーク化した案内**により来訪者の利便性を向上

案内標識と地図のデザインは、東山地域観光案内標識**デザイン投票の最優秀作品**を活用

京都女子大学がデザイン面でトータルコーディネーター役を担い、**大学と地域の連携を促進**

【その他の効果】

- ・ **多様な主体の融合**によるコミュニティの強化促進

関係団体等：地元住民、地元社寺、五条坂陶業会、五条会、京都女子大学、京阪電鉄、関西電力
東山3K（観光・交通・環境）協力金会議、国土交通省、京都市（産業観光局、東山区役所）

これにより**事業費を少額で**。

作家から作品を寄贈いただいたり、各団体の長所を活かすことにより、総事業費はわずか65万円（京都府域力再生プロジェクト支援事業交付金を一部活用）

- ・ 地域のアイデンティティの再認識、地域に対する誇りと愛着の向上
- ・ 周辺の観光案内が増えることによる新たな地域の魅力の発掘・再発見 など